

洪水から守ろう みんなの地域

5月25日(日)、県と厚木・海老名・綾瀬・愛川・清川の3市1町1村が主催する「平成26年度水防演習」がありました。演習テーマは「洪水から守ろうみんなの地域」

台風文号で城山ダムの放流と川の増水。情報伝達と消防団出動、水防工法、広域情報収集、住民の避難や救助、ライフラインの復旧、そして水防警報解除までを想定しての演習でした。

警報が出て、消防団に出動命令が出ました(上)



消防団が土手の決壊防止のため4ツ枠を作成中。現場の状況に合わせて工法を決めます(上)



建設業協会がバックホウで大型土のうを抬えます(下)



越水発生の恐れあり。市の河川パトロールカーで住民に避難を呼びかけます(下)



川の中州に取り残された人を、救命索発射銃で対岸にロープを渡してからボートで救助する厚木市消防本部(上)



埋もれた車両の窓を壊し、中の人を救助する神奈川県警(下)



2014年度予算要求の回答書(その6)
今回は、3. 子どもと教育の危機を打開するために①～③です。

3. 子どもと教育の危機を打開するために

①「子どもの権利条約」の学習・周知をはかり、子ども育成条例の実効性を高めること。

子どもの人権を所管する部署との連携の下、あらゆる機会を捉え、市民の皆様や子育て機関に対し子ども育成条例の周知に努め、実効性を高めてまいります。

(こども育成課)

②いじめ、不登校などの実態を把握し、早期の解決をはかるため、問題が大きくないうちに解決できるような、情報の共有ができる風通しの良い教職員間の

関係を確立すること。

学校は、児童・生徒が安心して安全に生活できることが基本であり、そのためにも、いじめや不登校、学級崩壊などの実態把握や早期対応、未然防止に向けた取組が大変重要であるとの認識の下、各学校において、担任がアンケートや面談を定期的実施するとともに、生活ノートなどで子供と一対一のコミュニケーションを図る機会を設けているほか、担任以外の教員が得た情報を職員間で定期的に共有する場や、家庭・地域と子供の校外生活についての情報交換の場を設けるなど、児童・生徒のきめ細かな実態把握により、いじめや不登校等の早期発見に努めております。

これらの取組を通じて得た児童・生徒が発したサインについては、

教職員全体で共有し、迅速な事実確認や適切な指導・支援を組織的に進めるよう努めております。

本市教育委員会では、教職員のいじめに対する意識を高めるためのセルフチェックシートや、組織的な対応についての参考資料を配布するなど、各校の体制づくりを支援しております。

今後も引き続き、学校訪問や研修会等を通して、児童・生徒の発するサインをしっかり受けとめることができるような教員の感性や指導力の向上に努めるとともに、学校・地域・家庭で総力を挙げて課題解決ができるよう取り組んでまいります。(学校教育課)

③子どもたちと向き合う時間を確保するために、教職員の多忙の実態を調査し、解消する具体的

な対策を講じること。

教職員の多忙の実態につきましては調査しておりませんが、教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的として、本市教育委員会において厚木市立学校教職員安全衛生委員会を設置し、ノー残業デーの実施など、教職員の多忙化を解消し、充実した教育活動を進めていけるような職場環境を整えるための協議をしております。

また、教職員の多忙を解消するための具体的な対策といたしましては、本市教育委員会と市長部局の協議により、夏季休業中に児童・生徒が取り組んだ各種コンクール等への応募作品をそれぞれの担当課が回収する形に変更したほ

か、平成25年4月からは、学校給食費を公会計へ移行したことにより、小・中学校の教職員が携わっていた給食費の徴収及び管理に関わる事務負担が軽減され、児童・生徒に向き合う時間を増やすことができたものと認識しております。

(教職員課、学校教育課、学校給食センター)

6月 議会の予定

6月 5日(木) 議運・本会議(初日)
6月11日(水) 本会議(一般質問)
6月12日(木) 本会議(一般質問)
6月13日(金) 本会議(一般質問)
6月17日(火) 総務企画常任委員会
6月18日(水) 市民福祉常任委員会
6月19日(木) 環境教育常任委員会
6月20日(金) 都市経済常任委員会
6月27日(金) 議運・本会議(最終日)
9時開会です。
ぜひ傍聴においでください。